
「科研費改革の動向」 Reorganization of KAKENHI: Current Activities of JSPS

世話人：原田慶恵（大阪大学蛋白質研究所，日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員）

Organizer：Yoshie Harada (Institute for Protein Research, Osaka University; Program Officer, Research Center for Science Systems, JSPS)

日時：9月21日（木）11:45-12:35（ランチョンセミナーの時間帯）

会場：F会場（E205教室）

昼食：お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし，数に限りがあります。

形式：日本語による講演会

講師：日本学術振興会 研究助成企画課長 大鷲 正和

日本が将来にわたって卓越した研究成果を生み出し続けるために，科学技術・学術審議会において「科研費制度の抜本的改革」が提言され，現在，科研費の研究種目・枠組みの見直しや審査システムの見直しが行われています。平成30年度科研費（平成29年9月公募）には「審査システム改革2018」として，審査システムの完全移行が行われる予定であり，科研費業務の大部分を担当している日本学術振興会の学術システム研究センターが中心となり，3年余りにわたり議論を進め，審査区分と審査方式とを一体的に見直してきたところです。ついては，本年1月，新たな審査区分として「小区分・中区分・大区分」を設定し，それに伴い，新たな審査方式（総合審査，2段階書面審査）について取りまとめられましたので，今回は，このシステム改革の内容を中心に，ご説明をいただきます。